

## 第3回 ダムによらない治水を検討する場 説明資料

平成21年6月8日

国土交通省 九州地方整備局

< 第3回の会議で説明する事項 >

現在の河道で様々な雨が降った場合、河道や周辺がどのような状況になるか。

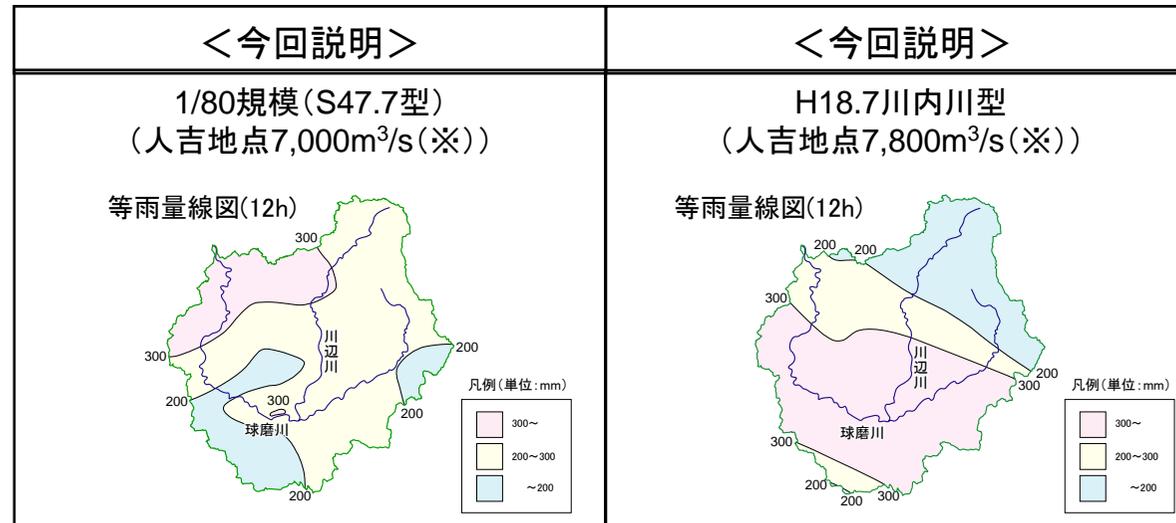
目次

○2ケース(人吉地点1/80規模の降雨、平成18年7月の川内川流域の降雨)	
に対する現在の河道(H17.3)におけるシミュレーション前提事項	..... 1
○2ケース(人吉地点1/80規模の降雨、平成18年7月の川内川流域の降雨)	
に対する現在の河道(H17.3)におけるシミュレーション結果	..... 3

○2ケース(人吉地点1/80規模の降雨、平成18年7月の川内川流域の降雨)  
に対する現在の河道(H17.3)におけるシミュレーション前提事項

## ◆ 第2回で提案された事項

- ・人吉地点で1/80、7,000m<sup>3</sup>/sとなるシミュレーション
- ・H18.7川内川流域で降った雨が球磨川流域で降ったと仮定した場合のシミュレーション



※上流での氾濫や市房ダムによる洪水調節がなかった場合の流量

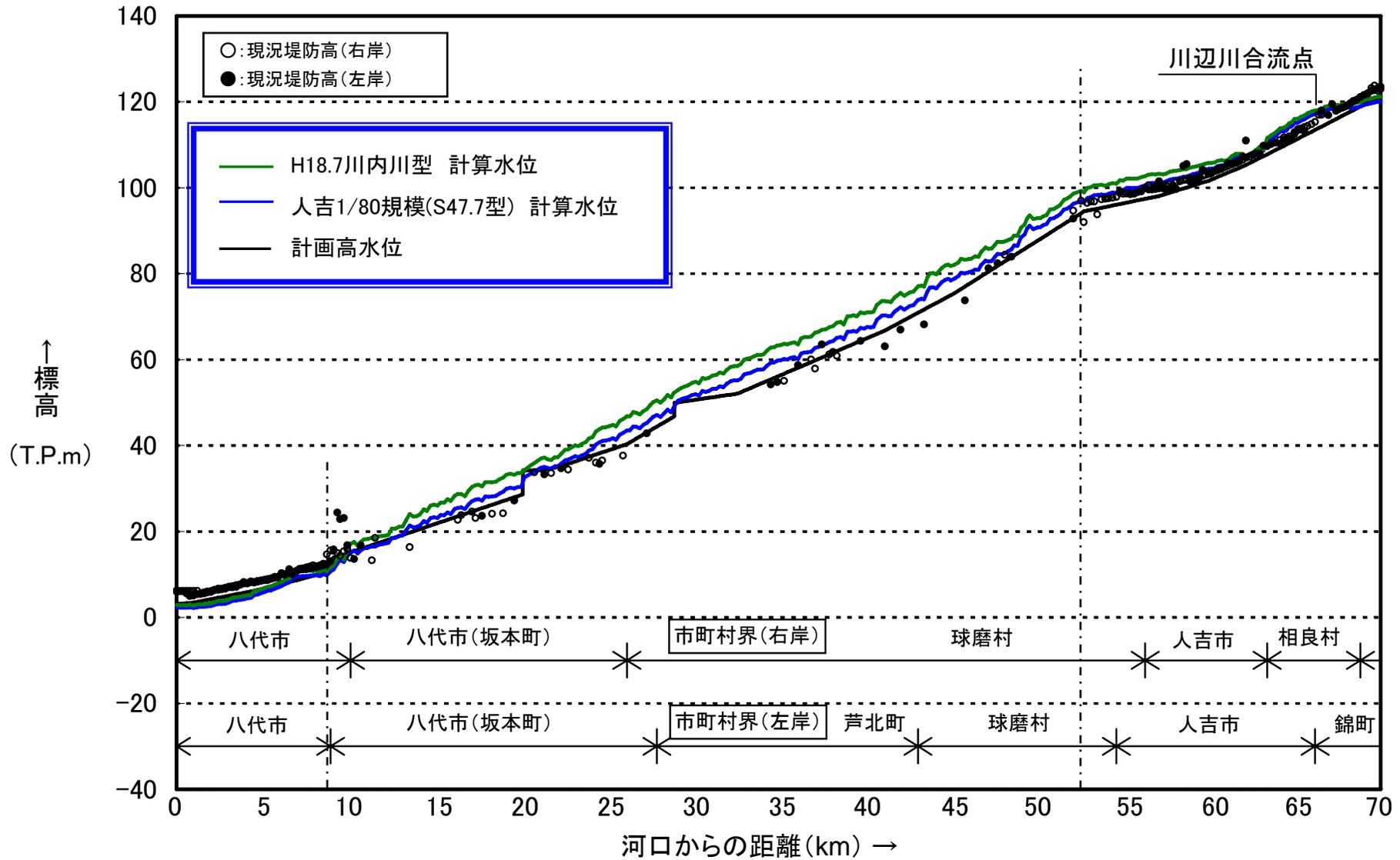
## ◆ シミュレーションにおける河道状況

- ・平成17年3月に測量した球磨川及び川辺川の川幅、堤防の高さ、河床の形状等で設定。
- ・前回と同様に市房ダムによる洪水調節(現行操作)や越水又は溢水による氾濫により下流への流量は低減する。

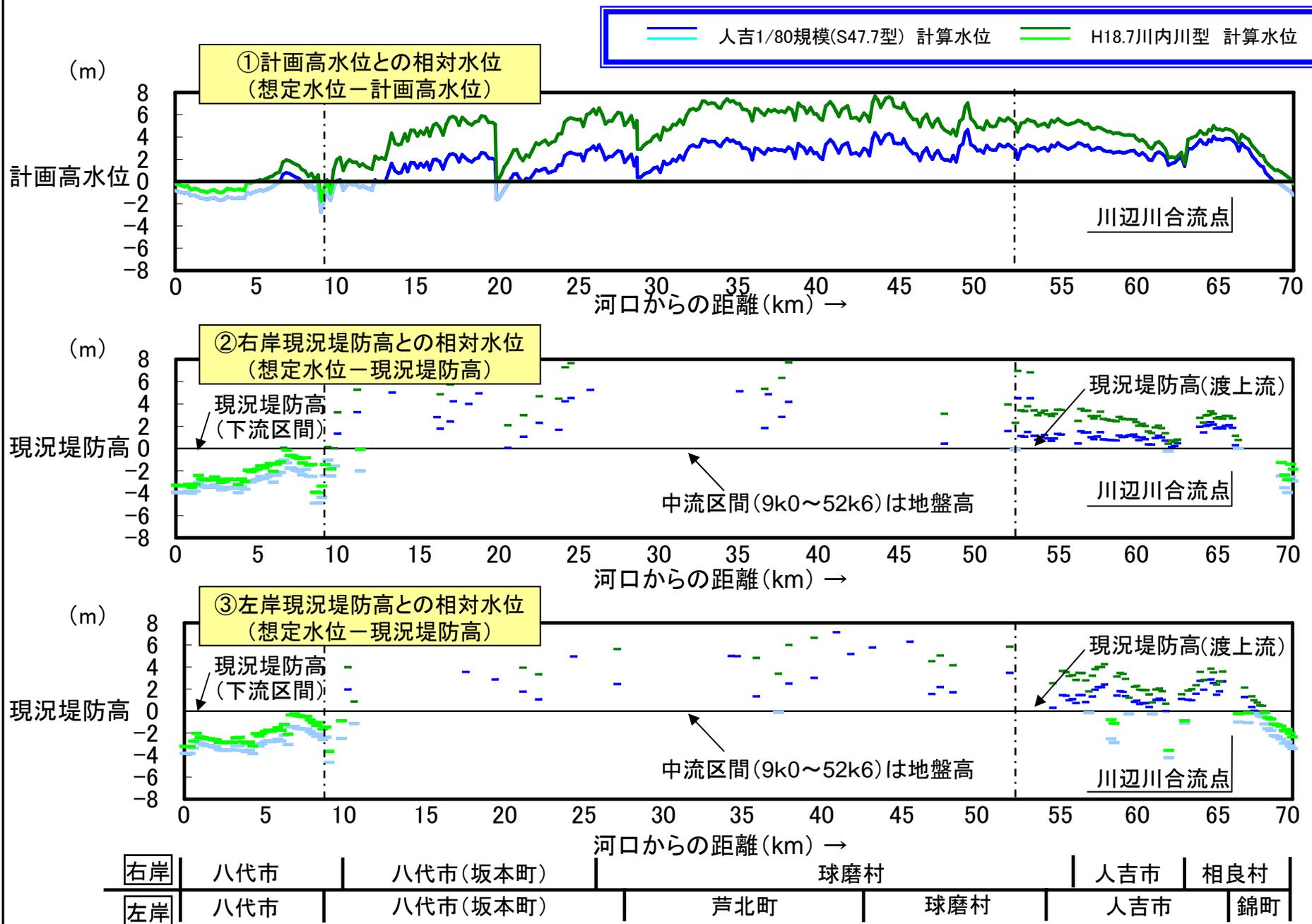
## ◆ 今回提示する内容

- 1. 河川水位の状況** : 仮に**堤防が決壊しなかった場合**、どこまで水位が上がるか。
- 2. 内水被害** : 内水被害が想定されるが、中小河川のシミュレーションまで必要になるため、このシミュレーションでは考慮していない。

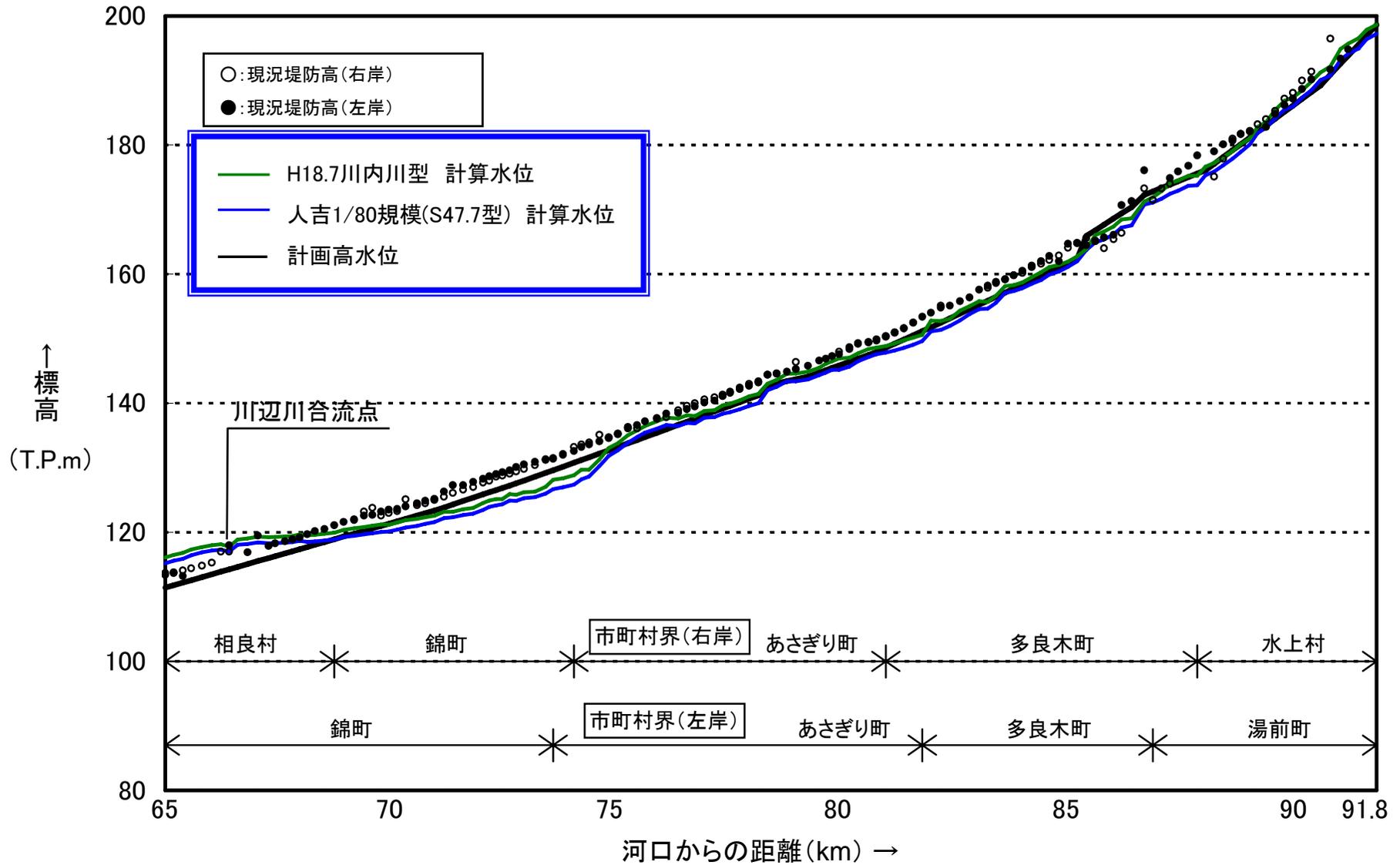
○2ケース(人吉地点1/80規模の降雨、平成18年7月の川内川流域の降雨)  
に対する現在の河道(H17.3)におけるシミュレーション結果



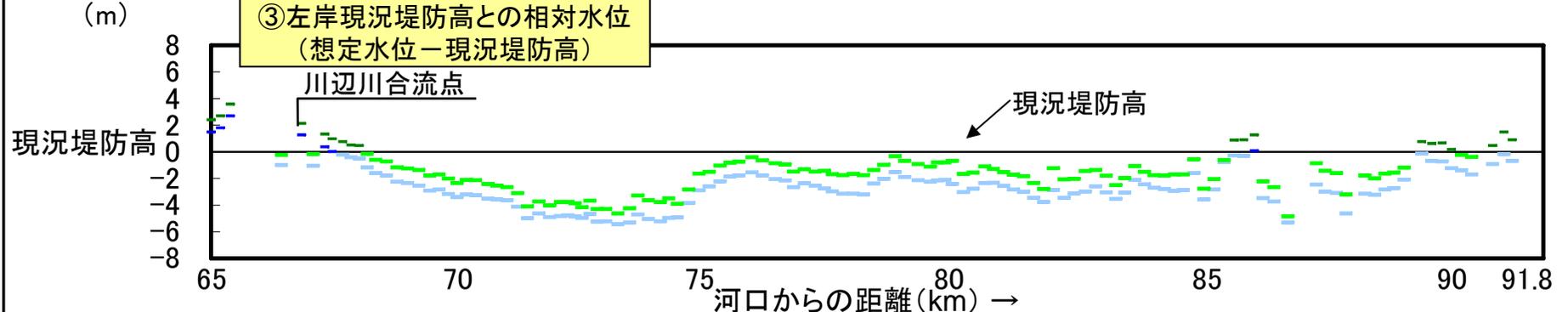
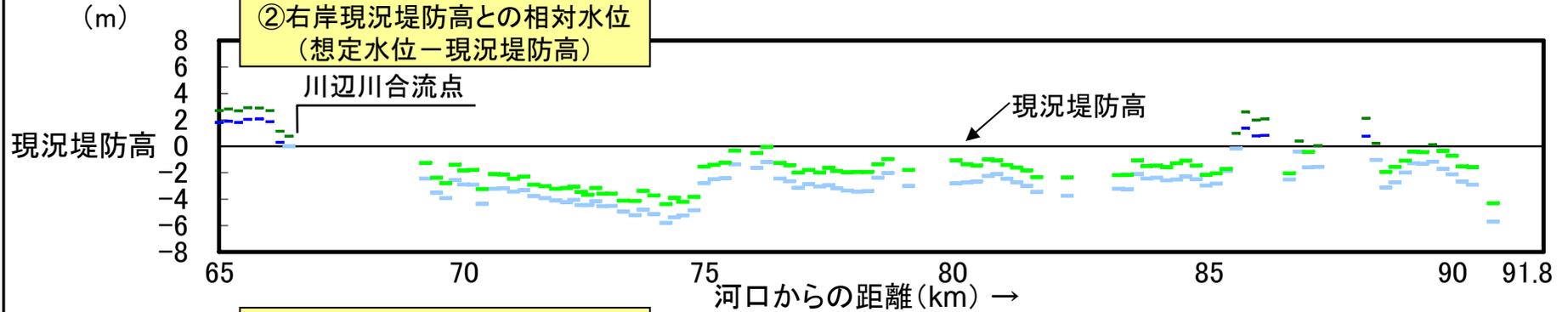
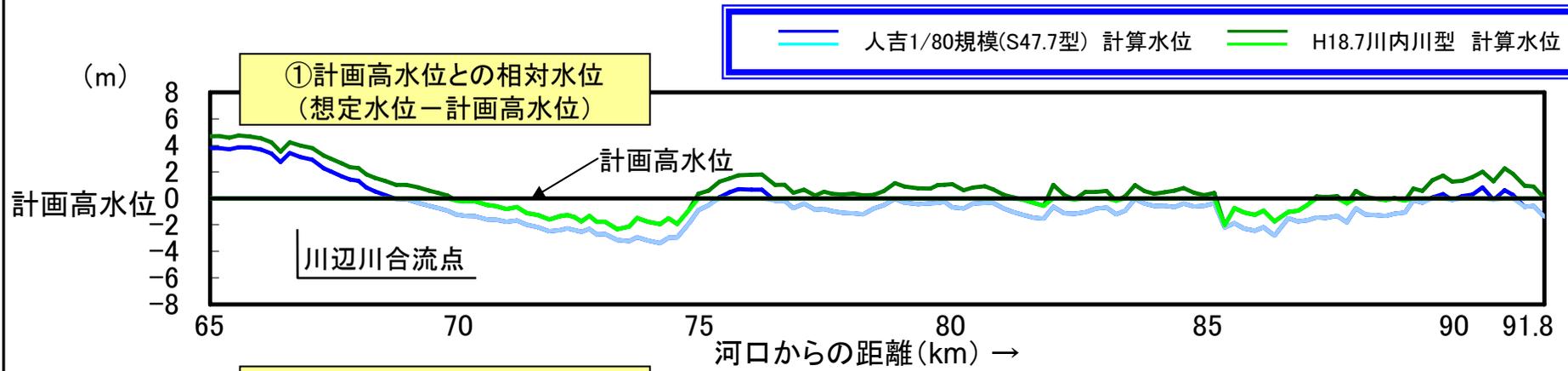
※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照



※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

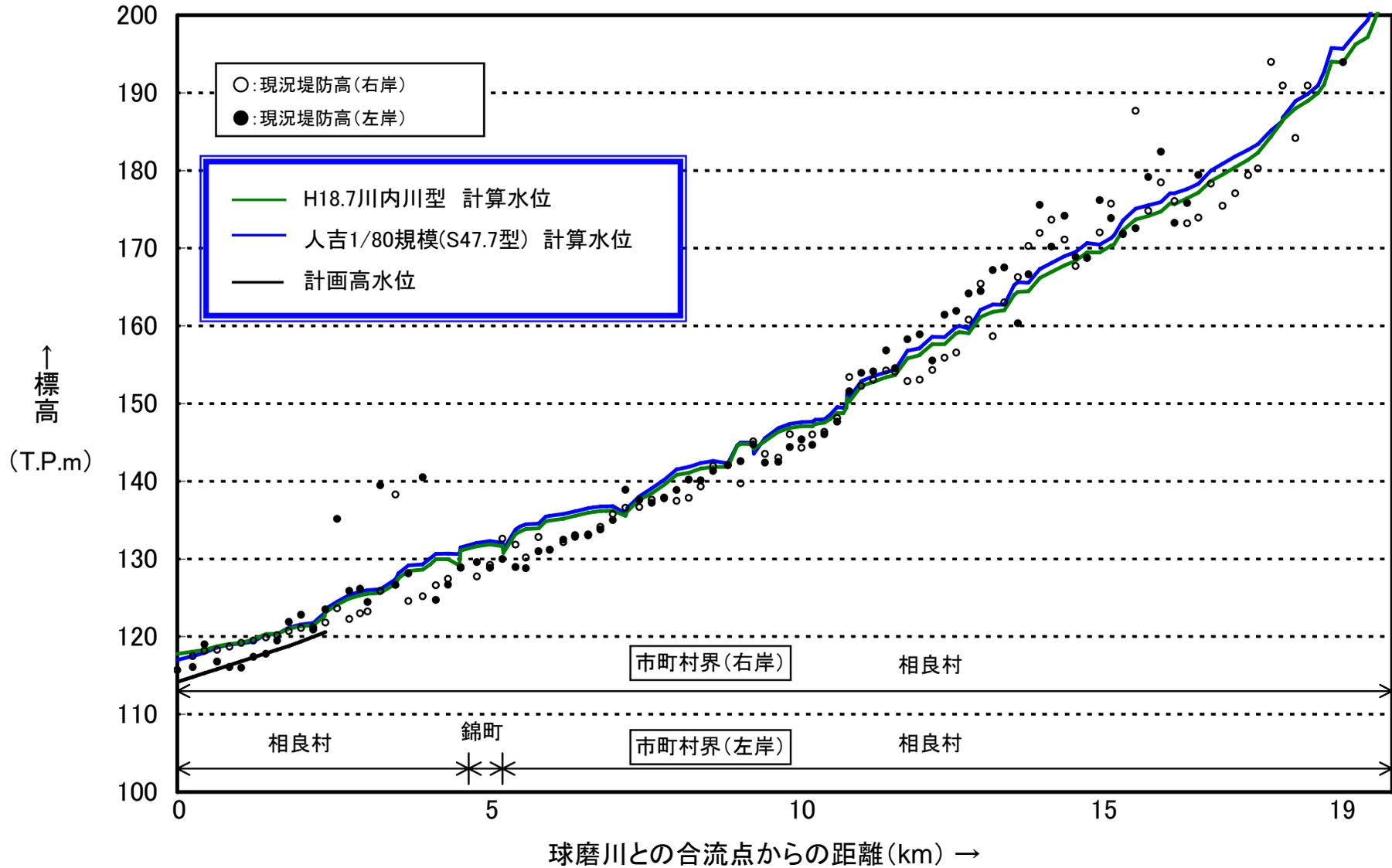


※検討条件は、P2及び参考資料①P4~P6を参照

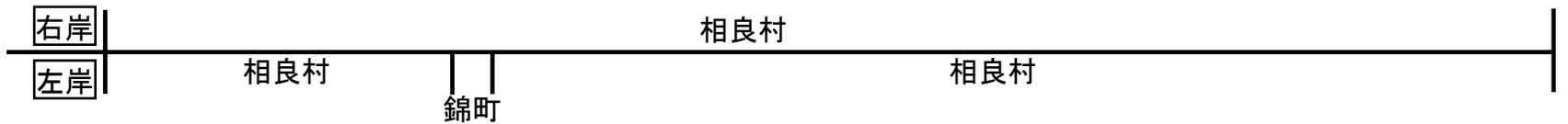
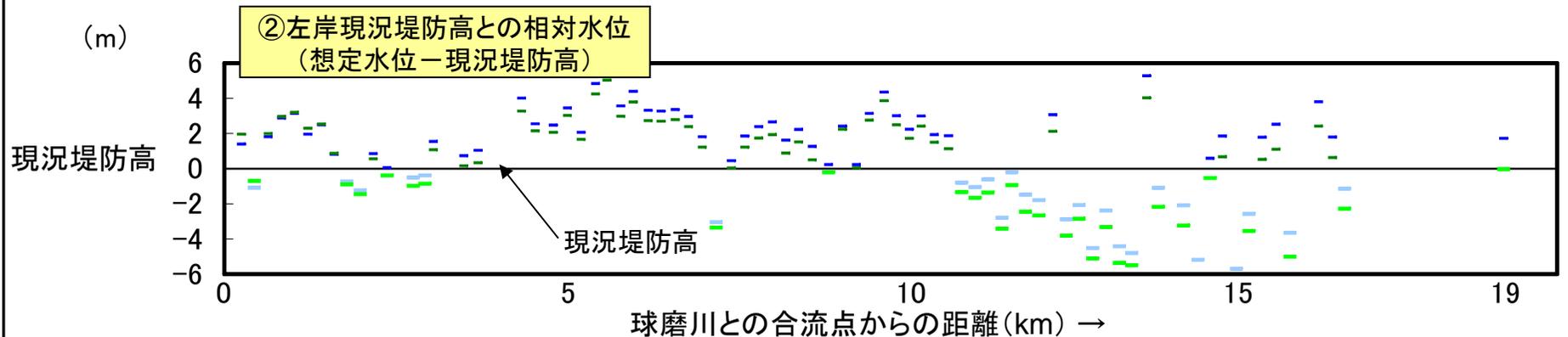
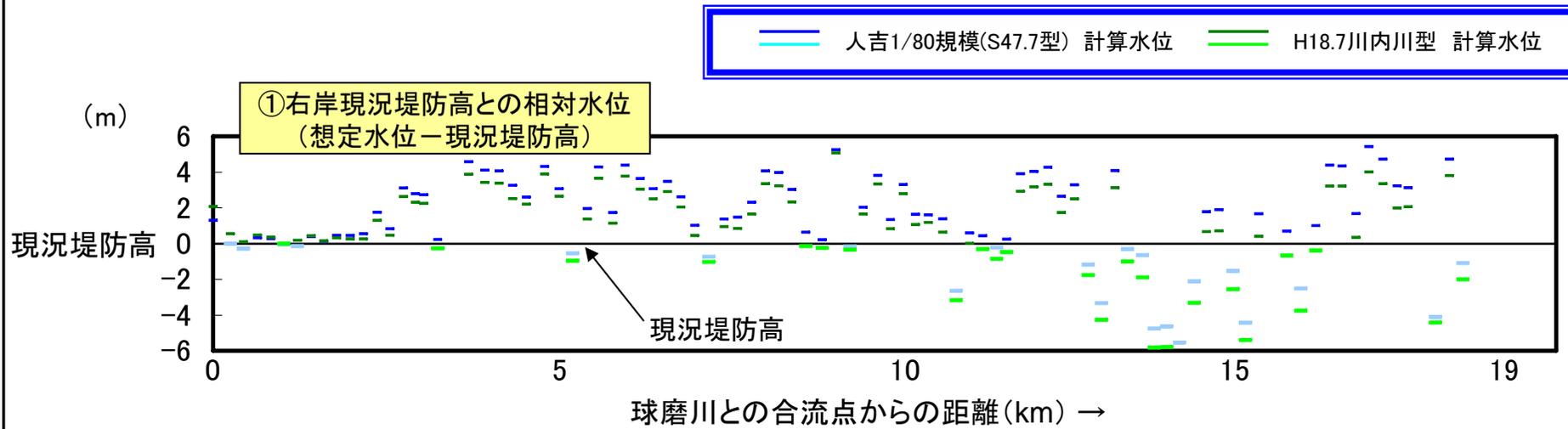


右岸	相良村	錦町	あさぎり町	多良木町	水上村
左岸	錦町	あさぎり町	多良木町	湯前町	

※検討条件は、P2及び参考資料①P4~P6を参照



※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照



※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

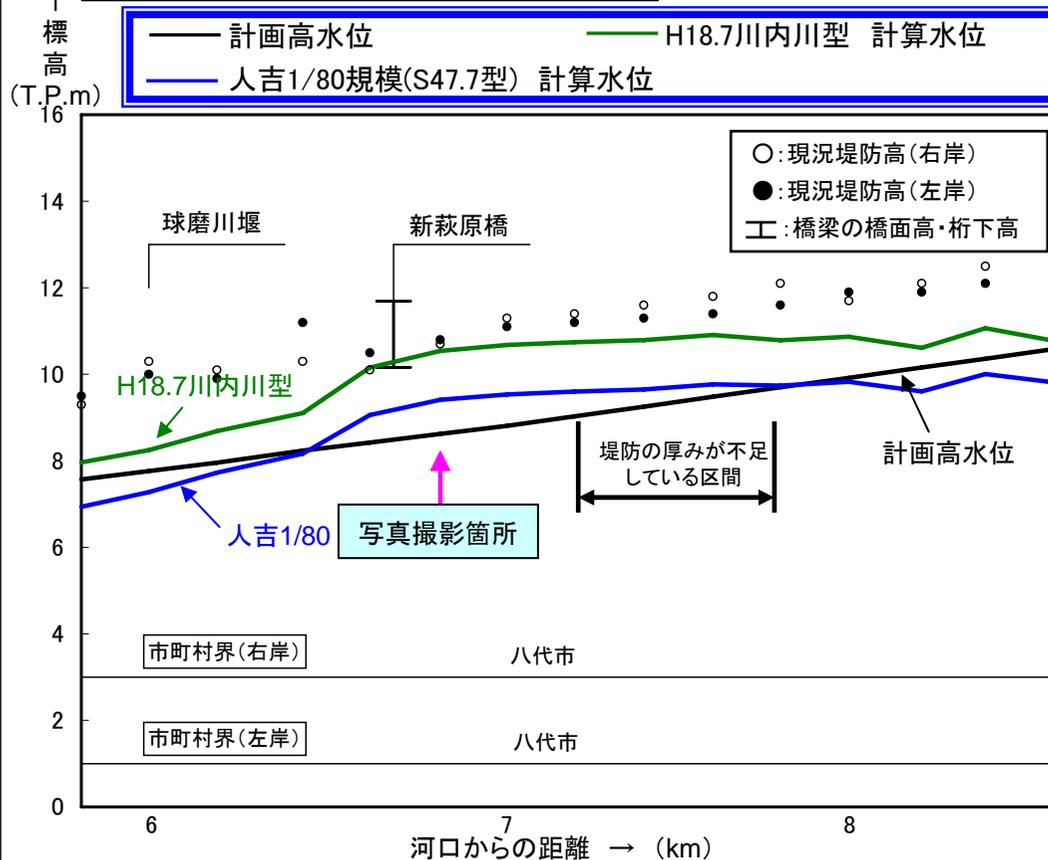
◆下流地区(八代市萩原町) 球磨川7k付近

- ・人吉地点1/80規模の降雨によるシミュレーションでは、計画高水位を上まわり、堤防が決壊するおそれがある。
- ・平成18年7月の川内川流域の降雨によるシミュレーションでは、計画高水位を上まわり、堤防が決壊するおそれがあるとともに、一部区間では右岸堤防を越え、背後地が浸水する。

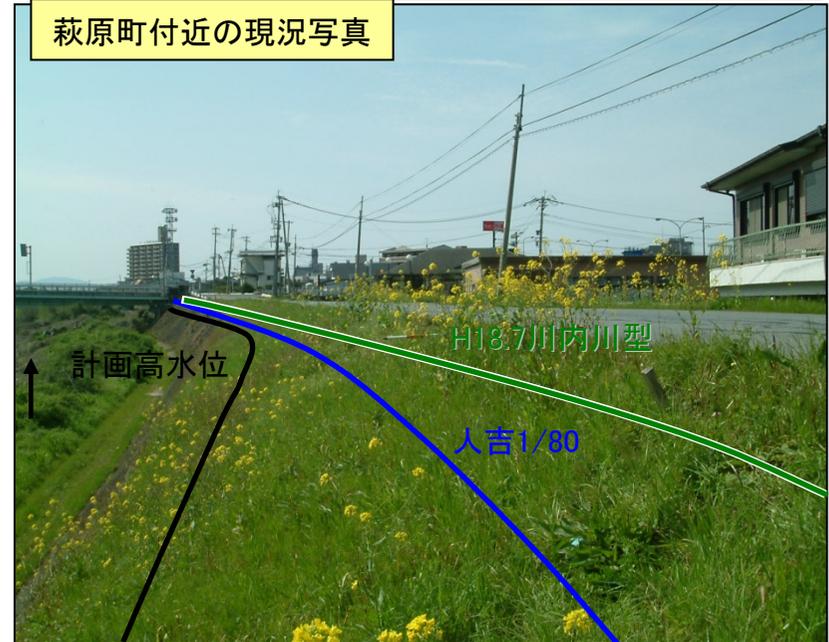
八代市萩原町付近の航空写真



堤防が決壊しないと仮定した場合の水位



萩原町付近の現況写真



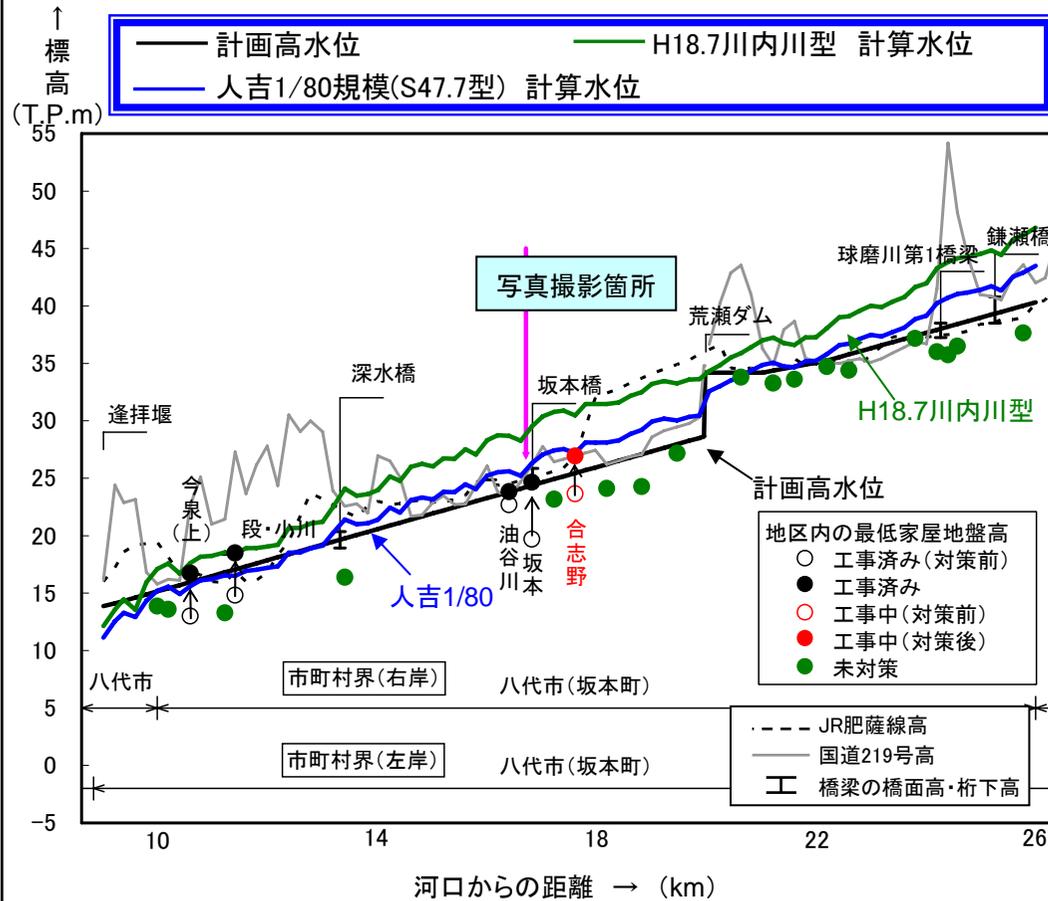
※堤防は越水に対して脆弱であり、計画高水位を超えて越水した場合には、決壊する危険性が更に高まる。

※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

◆中流地区①（八代市坂本地区） 球磨川17k付近

- ・人吉地点1/80規模の降雨によるシミュレーションでは、背後地が約1.6m浸水する。
- ・平成18年7月の川内川流域の降雨によるシミュレーションでは、背後地が約4.8m浸水する。

八代市坂本地区の航空写真



坂本地区付近の現況写真



※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

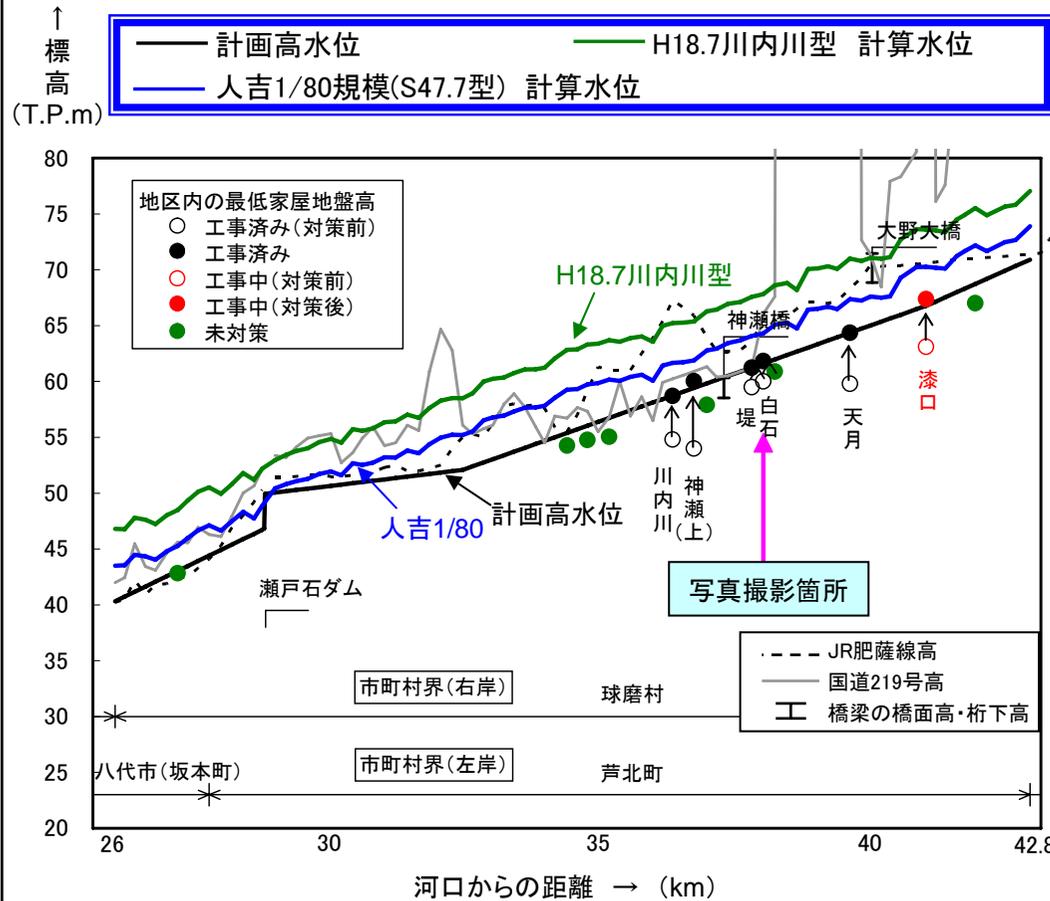
◆中流地区②（芦北町白石地区） 球磨川38k付近

- ・人吉地点1/80規模の降雨によるシミュレーションでは、嵩上げ後の背後地が約2.8m浸水する。
- ・平成18年7月の川内川流域の降雨によるシミュレーションでは、嵩上げ後の背後地が約6.4m浸水する。

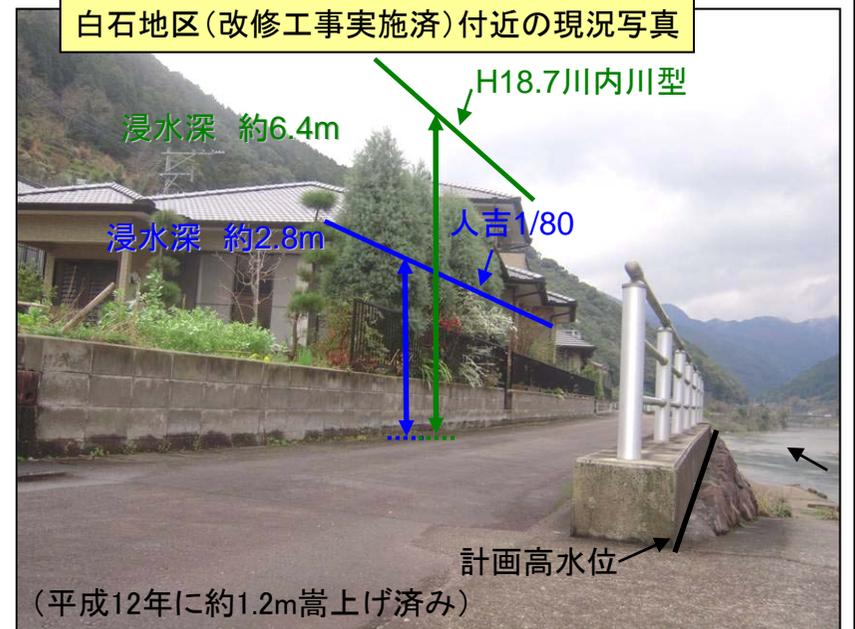
芦北町白石地区の航空写真



現況写真の位置



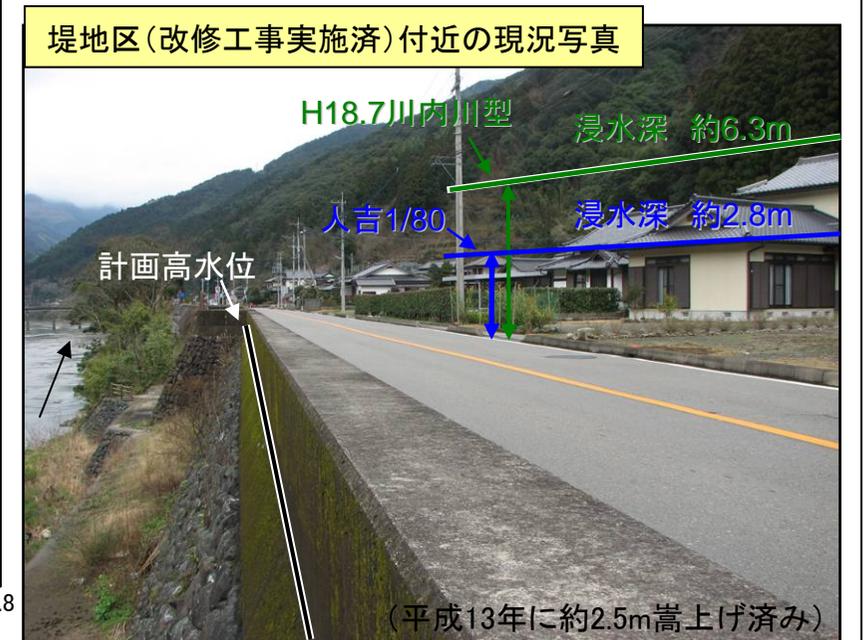
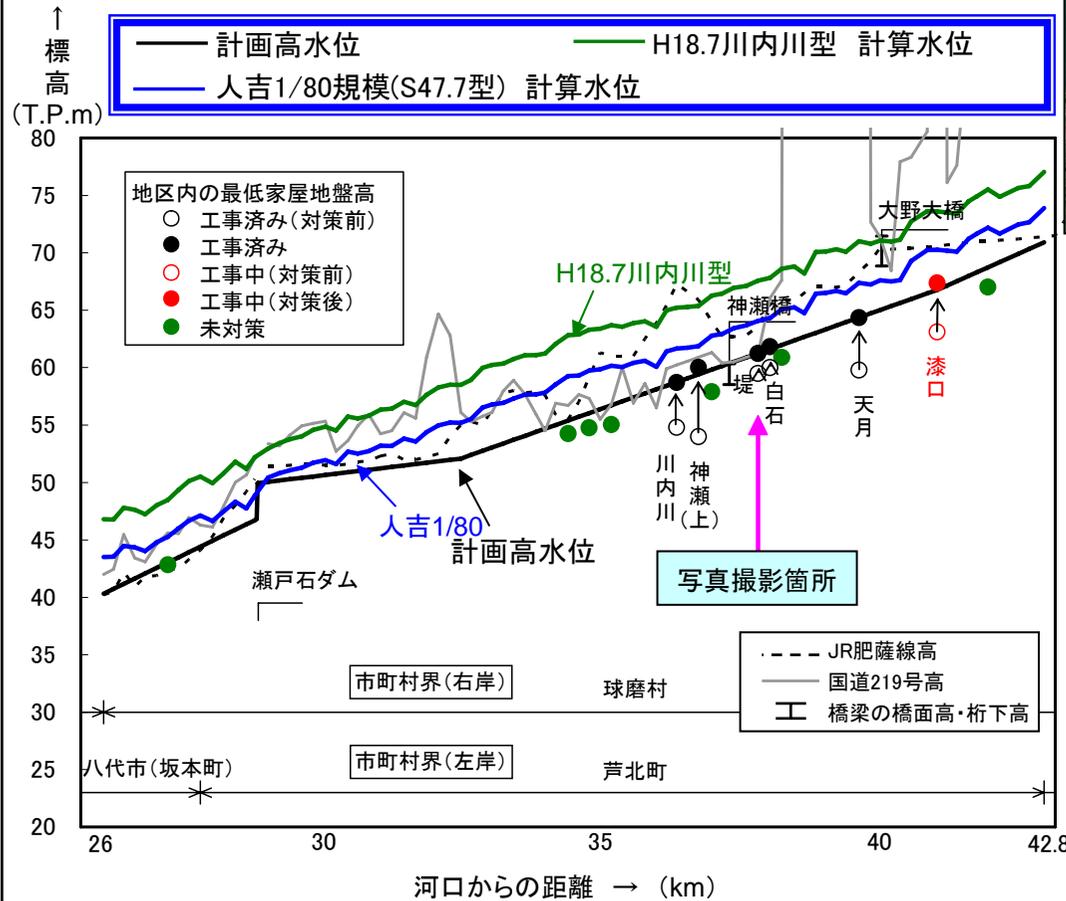
白石地区(改修工事实施済)付近の現況写真



※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

◆中流地区③（球磨村堤地区） 球磨川38k付近

- ・人吉地点1/80規模の降雨によるシミュレーションでは、嵩上げ後の背後地が約2.8m浸水する。
- ・平成18年7月の川内川流域の降雨によるシミュレーションでは、嵩上げ後の背後地が約6.3m浸水する。

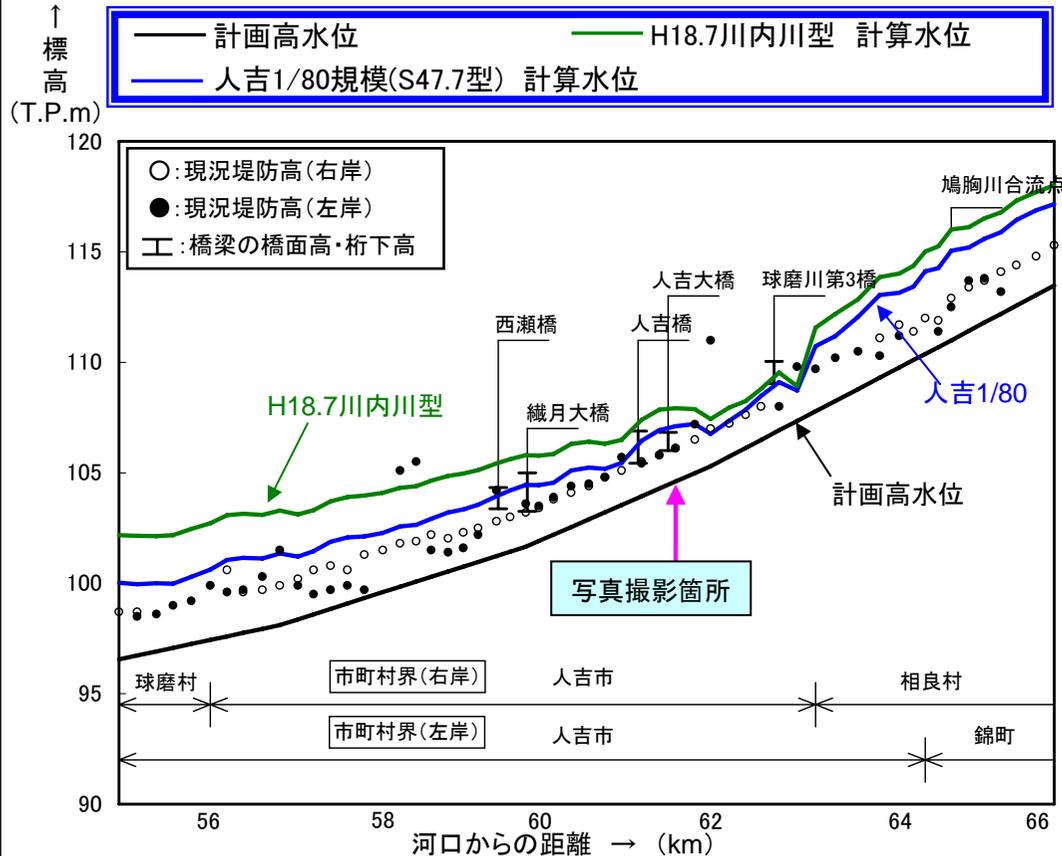


※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

◆人吉地区(人吉市九日町) 球磨川62k付近

- ・人吉地点1/80規模の降雨によるシミュレーションでは、右岸堤防を越え、背後地が約2.1m浸水するとともに、堤防が決壊するおそれがある。
- ・平成18年7月の川内川流域の降雨によるシミュレーションでは、右岸堤防を越え、背後地が約2.9m浸水するとともに、堤防が決壊するおそれがある。

堤防が決壊しないと仮定した場合の水位



人吉市九日町付近の航空写真



人吉市九日町付近の現況写真

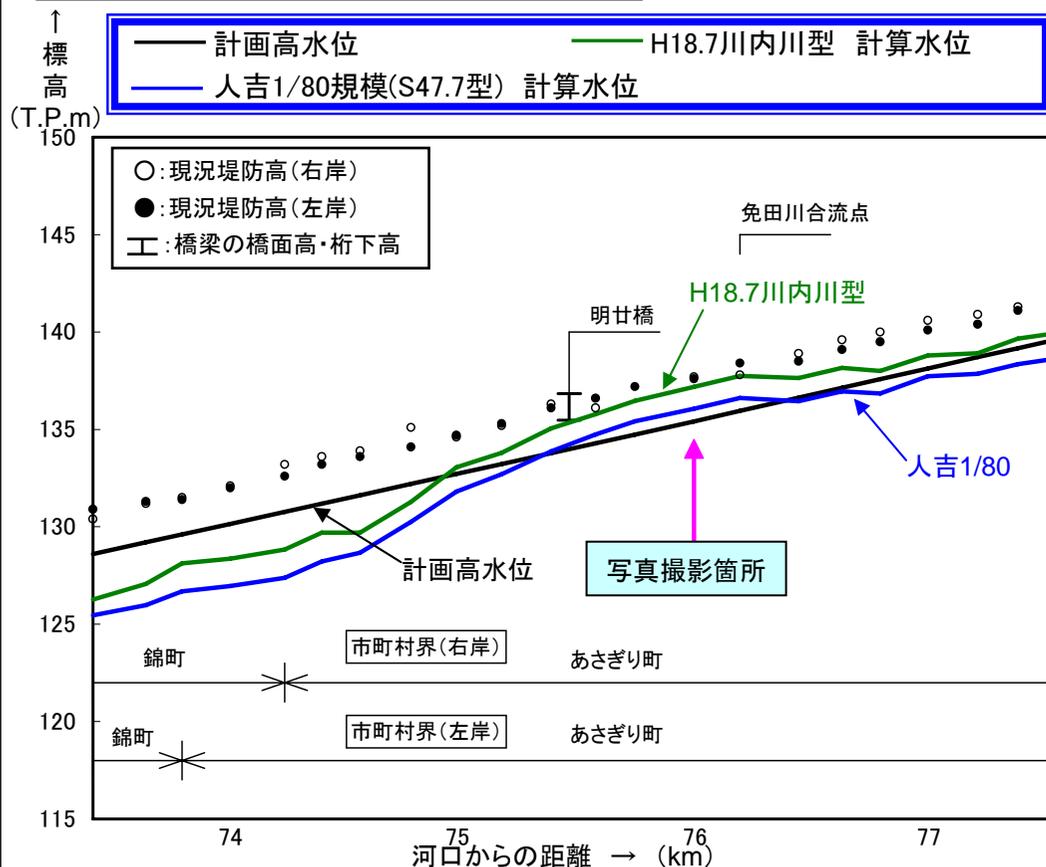


※堤防は越水に対して脆弱であり、計画高水位を超えて越水した場合には、決壊する危険性が更に高まる。 ※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

◆上流地区(あさぎり町明廿橋付近) 球磨川76k付近

- ・人吉地点1/80規模の降雨によるシミュレーションでは、計画高水位を上まわり、堤防が決壊するおそれがある。
- ・平成18年7月の川内川流域の降雨によるシミュレーションでは、計画高水位を上まわり、堤防が決壊するおそれがある。

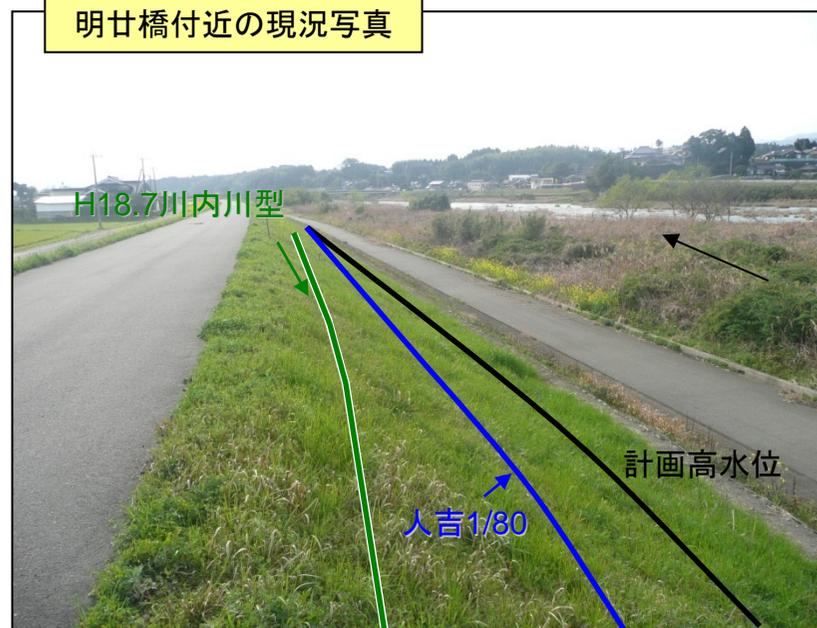
堤防が決壊しないと仮定した場合の水位



あさぎり町明廿橋付近の航空写真



明廿橋付近の現況写真

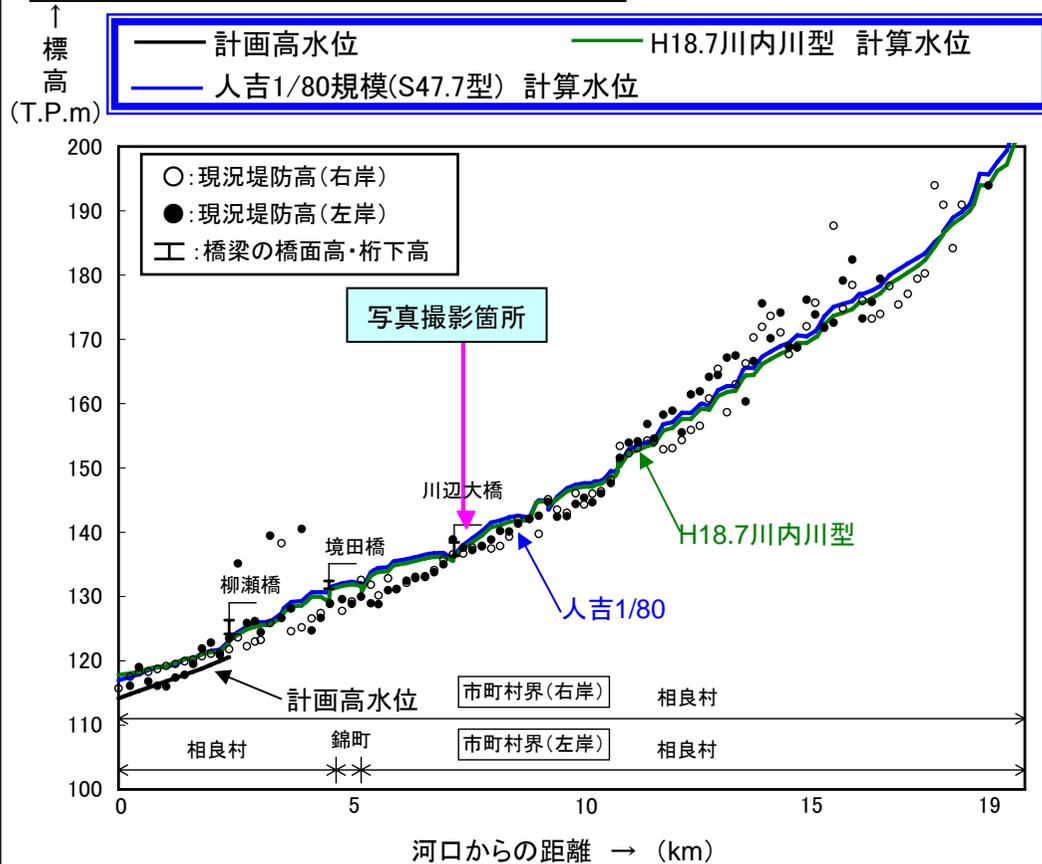


※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照

◆川辺川区間(相良村永江地区) 川辺川7k付近

- ・人吉地点1/80規模の降雨によるシミュレーションでは、右岸堤防を越え、背後地が約2.0m浸水するとともに、堤防が決壊するおそれがある。
- ・平成18年7月の川内川流域の降雨によるシミュレーションでは、右岸堤防を越え、背後地が約1.6m浸水するとともに、堤防が決壊するおそれがある。

堤防が決壊しないと仮定した場合の水位



相良村永江地区の航空写真



永江地区付近の現況写真



※堤防は越水に対して脆弱であり、計画高水位を超えて越水した場合には、決壊する危険性が更に高まる。

※検討条件は、P2及び参考資料①P4～P6を参照